

成田空港記者会 各位
各報道機関 御中

「若い世代に向けた新型コロナワクチン接種」チラシの 配布について

新型コロナウイルス感染症について、千葉県においても緊急事態宣言が9月12日まで延長されている中、いまだ感染が拡大している状況です。

特に20代・30代の若年層の感染が急増している状況が見られることから、「若年層へのワクチン接種に関する副反応等の不安の解消、接種をすることによる重症化リスク回避等」を呼び掛け、ワクチン接種を積極的に検討していただくチラシを、別紙のとおり作成しました。

チラシはA4両面刷りで、9月1日（水）の新聞朝刊に市広報と併せて折り込みます。また、8月31日（火）に市内公共施設等に配架します。

健康福祉部健康推進課 担当： 藤田、池内

電話： 0476-93-6493 FAX： 0476-93-2422

E-mail kenkou@city.tomisato.lg.jp





若い世代の皆さんへ



新型コロナウイルス感染症から

ご自身だけでなく

大切な人を守るために。



若い方も、ワクチン接種を積極的にご検討ください

- ワクチン接種により、65歳以上の方の感染者は激減しています。
- ワクチン接種に伴う副反応の大部分は、接種後数日で回復します。
- 市内医療機関でのワクチン接種の予約は、現在も受付可能です。

皆さんが心配される副反応について

(資料:千葉県HP)

症状	接種部位の痛み	疲労、頭痛	接種部位の腫れ	筋肉痛、悪寒、関節痛、 下痢、発熱	吐き気、嘔吐
発現割合	50%以上	50%以上	10%~50%	10%~50%	1%~10%
継続期間	約2日	約1日	約2日	約1日	約2日

- 1回目に比べ免疫反応が起こりやすくなる2回目は、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすい傾向にあります。

ワクチン接種により重症化が軽減されます

★若い方が重症化するリスクは低いと言われていますが、若い方も重症化したり、後遺症に悩まされたりする場合があります。

★ワクチンを接種することで重症化が軽減されるといわれています。

◆富里市の感染状況

		～ R3.5.31	R3.6.1～R3.8.24	合計
年代別 発生件数	10歳未満	13人	8人	21人
	10代	39人	21人	60人
	20代	88人	73人	161人
	30代	87人	48人	135人
	40代	81人	37人	118人
	50代	31人	36人	67人
	60代	41人	10人	51人
	70代	29人	5人	34人
	80代	18人	1人	19人
	90歳以上	7人	0人	7人
合計		434人	239人	673人

合計296人
全体の
43.9%

- 65歳以上の方のワクチン接種が本格化した令和3年6月以降、60代以上の方の感染者は16人(6.7%)でした。
- 上記の表から、ワクチン接種が進んでいる年齢層に、効果が出ていることがうかがえます。
- 一方で、特に20代・30代の感染者がこの約3か月で急増しており、後遺症に苦しんでいる方もおられます。
- **接種をお待たせした年齢層のワクチンも確保されています。**大切な家族・大切な方を守る行動をお願いします。

◆ワクチン予約状況

1回目接種予約数			
年齢区分	予約数	対象者数	割合
65歳以上	11,777人	14,886人	79.1%
60～64歳	2,136人	3,019人	70.8%
50～59歳	3,966人	6,501人	61.0%
40～49歳	4,200人	7,413人	56.7%
30～39歳	2,769人	5,883人	47.1%
20～29歳	2,163人	5,365人	40.3%
12～19歳	1,743人	3,246人	53.7%
合計	28,754人	46,313人	62.1%

◆ワクチン接種状況

年齢区分	接種数	対象者	割合
65歳以上	12,852人	14,886人	86.4%
60～64歳	2,468人	3,019人	81.7%
50～59歳	3,646人	6,501人	56.1%
40～49歳	3,320人	7,413人	44.8%
30～39歳	1,964人	5,883人	33.4%
20～29歳	1,599人	5,365人	29.8%
12～19歳	985人	3,246人	30.3%
確認中	60人	—	—
合計	26,894人	46,313人	58.1%

上記の表のとおり、若い方のワクチン予約及び接種状況は低い状況です。

ワクチン接種後も基本的な感染症対策を

- マスクの着用、手洗い、社会的距離の確保
- 3密(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避
- 家庭内でも可能な限りマスクを着用
- 寒い環境でも換気の実施と適度な湿度を保つ
- 発熱、風邪の症状があるなど、調子が悪いときは無理せず休む
- 発熱症状などある方は、地域の診療所(かかりつけ医)に電話相談
- 家族や普段一緒にいる人以外との会食は控える
- 会話するときはマスクをつけ、「会話」と「食事」を分ける

